

Weekly Report



ロータリー:
変化をもたらす

2017~2018年度
国際ロータリーのテーマ
ロータリー:変化をもたらす
(ROTARY: MAKING A
DIFFERENCE)

2017~2018年度
名古屋瑞穂ロータリー
クラブ会長のテーマ
ロータリーの品格を高めよう!

創立: 1980年(昭和55年)1月10日
会長: 稲葉 徹
幹事: 大嶽 達郎
クラブ広報委員長: 鈴木 健司
例会日: 毎週木曜日 PM12:30~
会場: ヒルトン名古屋

事務局: 460-0008

名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNATビル7F

TEL: 052-211-3803

FAX: 052-211-2623

MAIL: 2760_nagoya@mizuho-rc.jp

URL: <http://www.mizuho-rc.jp/>

第1800回例会

~会員増強・新クラブ結成推進月間~
クラブテーマ:「熱田の杜・友愛・気品」

2017年8月31日(木) 晴れ 第8回

司会: 花井芳太郎会場委員
ゲスト: 瑞陵高等学校IAC顧問 森重統先生
: 瑞陵高等学校IAC会長 水谷恵さん
: 瑞陵高等学校IAC 庄司直哉さん
: 米山奨学生 金瑩さん

会長挨拶

稲葉徹会長

皆さんこんばんは。本日はなごやか例会です。瑞陵高等学校インターアクトクラブの海外研修報告をしていただきます。

ここで、インターアクトクラブについてふれておきますと、インターアクトは1962年に国際ロータリー理事会で採択されたロータリーの常設プログラムであり、12歳から18歳までの若者、日本では中・高生を対象とした奉仕クラブです。インターアクターはインターアクトクラブで奉仕活動を行い、リーダーシップのスキルを身につけ、新しい友人をつくるわけです。

クラブ結成後は、その学校内の課外活動の一部となりますので、学校の先生方とロータリークラブの適切なフォローがなければ、その組織の維持には努力と工夫が一層必要であります。

インターアクト支援には次の二つの奉仕プロジェクトがあるとされています。すなわち、

- ①地域社会を支援するプロジェクト
- ②国際理解を推進するプロジェクト

です。このうちの2番目の国際奉仕、国際理解について本日海外研修報告をいただくわけです。

海外研修を通じて地域、会員同士の友情が深まり、その中で指導力と人間の高潔さ、個人に対する思いやり、個人の責任等々の多くのことを学ばれたものと思います。

我々ロータリアンも本日の海外研修報告を聞いて、設立後2年たった瑞陵高等学校インターアクトクラブに対し、これからも皆様方のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。若いインターアクターのパワーは大変強いものでありますので、これまで以上のフォローをお願いするところです。



出席報告

鈴木雅登出席委員

会員64名 出席47名 (出席計算人数48名)

出席率 82.5% 8月24日は補填により 89.7%

ニコボックス

鈴木雅登ニコボックス委員

- ・先週の母親の葬儀にご臨席ありがとうございました。93才でした。 **内田 久利さん**
- ・63才になりました。いつも有難うございます。これからも宜しく御願います。 **森 裕之さん**
- ・妻の誕生日にお花ありがとうございました。 **馬場 将嘉さん**
- ・家内の誕生日にはお花を有がとうございました。

岩田 吉廣さん

- ・本日は朝早くから24名という多数の方々で野球の練習に参加していただきました。明日は熱田神宮にて「あつた朝日市」を開催いたしますので是非お立寄りください。 **鈴木 淑久さん**
- ・野球同好会の早朝練習に参加しました。残念ながら敗戦投手になりました。今度は勝たせて下さい、近藤さん!

関谷 俊征さん

- ・本日早朝、野球同好会の練習試合がありました。結果負けでしたが、次につなげる試合ができました。おつかれ様でした。

鈴木 実さん

- ・暑い日が続いております。皆様お体を御自愛下さい。本日、朝のマグロ丼美味しかったです。
- ・本日は楽しい野球でした。又、まぐろ丼最高!ありがとうございました。

長谷川 隆さん

- ・岩田さん、近藤さん、市岡さん、田中さん、8月24日はお世話になりました。大変勉強になりました。ありがとうございます。

鶴田 浩さん

安岡 克明さん

幹事報告

大嶽達郎幹事

- ・次週9月7日(木) 11:00から長期ビジョン委員会を事務局にて、13:40から第3回理事会をヒルトン名古屋4階「梅の間」にて行います。
- ・九州北部豪雨への義援金はニコボックスより64,000円(1,000円×64名分)+67,000円(集金分)合わせて131,000円を送金しました。
- ・星野一郎さんの事業所名が変更されました。「星野一郎法律事務所」から「弁護士法人オールスター」となります。

オーストラリア研修報告：庄司直哉さん

僕は今回が初めての海外でとても緊張していました。ホストファミリーに会う前にメールを送ったのですが、メールが返って来ず、このホストファミリーで大丈夫かと始めは心配していました。しかしそれはシステムの都合でメールが届かなかっただけのようだったので、安心しました。

実際に会ってみるとホストファミリーはとてもいい方でした。教養がありおしゃべりが好きなのですが、その内容が日本の政治や教育、哲学や文学と、高度な内容のお話でした。難しい内容でしたが、分かりやすい英語に言い替えて教えてくれたのでなんとか会話することができました。

オーストラリアに行った際の第一印象は、「豊かな自然」でした。パースは日本では見られない色鮮やかな鳥を間近で見ることができたり、海と見間違えるような大きな川が目の前にあったりと自然豊かな街でした。この自然の豊かさが人々の心の豊かさに繋がっているのではないかと思います。今回の貴重な体験ができたのはRCの皆様のご協力があったことなので、感謝しています。ありがとうございました。

オーストラリア研修報告：水谷恵さん

今回楽しく過ごせたのはホストファミリーのおかげです。ホストファミリーは私がオーストラリアに着いた時1番に会いに来てくれ、最後のお別れの際はバスの前まで見送ってくれました。私のことを本当の家族のように大切に扱ってくれました。美味しい料理を食べさせてくれたり、素晴らしい環境で過ごすことができたりして感謝の気持ちでいっぱいです。

今もまだメールのやりとりが続いており、すぐ返せるわけではありませんが、これからも連絡を取り続けていきたいと思っています。

オーストラリアはシドニーやメルボルンのイメージがあり、パースは全く知りませんでした。しかし調べてみると世界一美しい街と言われていることを知りました。実際、本当にその通りだと思えるほど美しい街でした。日本は夏ですがオーストラリアは冬でした。地中海性気候とのことなのですが、地中海ではないのにどんな感じなんだろうと不安でした。現地では雨が頻繁に降ってきて驚きました。しかし現地の方は傘をあまり差しておらず、そういったところでも文化の違いをたくさん見つけられたと思っています。

私は英語が元々得意なほうでしたが、1週間英語に囲まれて行く前よりも話せるようになったという自信がついたので、今後に生かしていきたいと思います。また、私は現在IACの会長をさせてもらっているのですが、今回の体験を学校で伝える機会がまだないので、今度の文化祭や友達との会話で楽しかったことを伝えて国際理解を深めてもらい、今のIACのメンバーに来年オーストラリアへ行くことを楽しみにしてもらいたいです。今回このような機会を与えていただけてありがとうございました。

まとめ：森重統先生

2人が今感想を述べた通りです。庄司に、行って何を得てきたのかと聞くと、「ディーパーミーニング」とのことでした。

「ディープミーニング」だと「深い意味」という訳になりますが、比較級だと「より深い意味」となります。それをホストマザーから教わったそうです。それはつまりどういう意味だろうという話をしました。

高校生が外国へ行くと文化や考え方が全然違うので、日本へ帰ってきた時に日本がまた新しく見えるようになります。それが深い意味ということかと思いますが、もっと考えてみると、色々な違いがあったり言葉が多少分からなかったりしても、本当にこちらの気持ちをしっかり伝えれば、人間同士なのだから分かり合える存在なのであるということに気付くということが「ディーパー＝より深い」ということだと思います。色々な国のエゴがあってぶつかることがあります。こうして若いうちに外国での経験をした子たちが、お互いに分かり合えると思っていれば、最終的にけんかや戦争をしなくて済むということに繋がっていくのではないかと考えてみました。

本校のIACも1年生が7人ほどおり、合計約10人で活動していますが、やはり皆オーストラリアへ行きたいという気持ちを持っています。これが一つのきっかけとなって、英語なら英語を中心にして視野を広げていく活動が当IACの目玉の1つになれば良いと思っております。本当に皆様方の援助があった結果です。ありがとうございました。



例会のご案内

■今週の卓話 9月7日(木)

テーマ：障害者の自立と社会参加を支える
介助犬

卓話者：日本介助犬協会 専務理事
高柳友子さん

■次週の卓話 9月14日(木)

テーマ：身体のシグナル!?
～本当にあるのですか?～

卓話者：医食タレント きくち教児さん

■次々週行事 9月21日(木) ガバナー補佐訪問